

令和 5 年度 ユニバーサル社会づくりの推進

福祉部ユニバーサル推進課



ユニバーサル社会づくりの推進

1 ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例

年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる社会（平成30年4月施行）

2 ユニバーサル社会づくり総合指針

条例の基本理念実現のため指針を改訂（平成30年10月）
指針に基づき取組を推進

● 推進体制

- ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議（平成17年8月設立）
- 会長：兵庫県知事 副会長：兵庫県社会福祉協議会会長
- 構成団体：62団体
- 会員：477会員(279団体・企業、個人198名)



ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針 五つの基本理念

ひと

人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会

参加

全ての人がある能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会

情報

生活に必要な情報を円滑に取得し、利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会

まち

福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会

もの

全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会

令和5年度の主な取組

人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会

ひと

56事業

1,172,428
(千円)

1 基本理念に対する理解を深める機会の提供

- ユニバーサル社会づくり情報の発信
- ユニバーサル社会づくり顕彰事業（R5：2個人、5団体、2企業を表彰）
- 配慮が必要な方に関するマークの普及啓発（ヘルプマーク、～R5.8月：83,520個）
- (拡)人権擁護サポート事業
（多様化する人権問題に対応するため、インターネット上の人権侵害やLGBT等の悩みに関する専門相談体制等を整備）

2 家庭、地縁団体等と連携した障害児への生きる力を育むための教育の実施

- 医療的ケア児に対する支援体制の構築
（医療的ケア児の家族等からのワンストップ相談対応、研修会・家族交流会の開催等）
- (新)青少年の発達障害者に対する「居場所づくり」モデル事業
（高校生等の青年期世代の発達障害者が、他者との関わり方や振る舞い方などの学びを得る「居場所づくり」をモデル実施し、成果を発信）

3 ユニバーサル社会づくりに資する人材の養成

- みんなの声かけ運動の推進・充実強化（[推進員]～R5.9月：5,083人 [応援協定締結]～R5：242団体）
（障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方など、まちなかで困っている人がいるときに、だれもが声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」展開）
- (拡)外国人留学生の定着支援事業
（県内の介護福祉士養成校での円滑な外国人留学生の受け入れを目的に、研修会の開催や留学生、教員相互のコミュニケーション支援を実施）
- 認知症への社会の理解を深めるキャンペーンの実施
（認知症の人本人やその家族が、安心して集える居場所や活躍できる場の充実を図るとともに、オンラインも含めた様々な手段により、必要な情報を得て、孤立や介護離職等に追い込まれることがないよう取組を強化）

3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



10

人や国の不平等を
なくそう



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



令和5年度の主な取組

全ての人とその能力を発揮して、多様な社会参加できる社会

参加

1 高齢者、女性、障害者が多様な勤務形態を選択できる環境の整備

- 障害者の工賃向上等支援
- (新)農福連携の理解促進事業
(農福連携の理解を深めるため、研修会の開催や推進員を配置するとともに、障害福祉事業所と農業者等のマッチング支援会議を開催)
- (新)就活準備キャリアラボラトリー事業
(学生が男女双方の働き方や考え方を理解しつつ、キャリアプランを考えて就職活動に取り組めるよう、企業研究や学生が主体的に企画するフォーラムの実施に加え、キャリアカウンセラー等によるキャリアプラン形成支援、県内企業経営者との座談会を実施)

2 地域社会全体で高齢者、女性等の社会参加を促進する体制の整備

- (拡)「子ども食堂」の立ち上げ支援
(NPO法人や地域住民グループが実施する「子ども食堂」運営事業を県内全域へ拡大するため、立上げ経費を助成)
- (拡)老人クラブ活動強化推進事業
(高齢者の社会参加を促進するため、単位老人クラブが行う共生型助け合い活動、会員加入促進活動、地域活動の再開及び健康づくりの実施・普及促進活動を支援)

3 障害者等が生活を営む上で障壁となるものを除去するための支援の体制の整備

- (新)盲ろう者の社会参加促進体制の構築
(盲ろう者の社会参加を促進するため、市町及び関係機関と連携し、実態把握やアウトリーチ相談等を進め、支援体制を構築)
- (新)「親なきあと」を見据えた在宅障害者等への支援
(在宅障害者・保護者等に対し、地域生活への理解を促すため、地域生活の具体的な姿の説明・提案等を実施)

4 文化芸術活動、スポーツ等を通じた、様々な人との交流の促進

- (拡)パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開
(障害の有無に関わらず、ともに楽しむことができるスポーツの普及拡大、国際大会等で活躍できるパラアスリートの発掘・育成)
- (拡)障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト
(「県障害者アートギャラリー」での常設展の実施、作品展示・発表会の開催支援、大阪関西万博を見据えたシンポジウムの開催)
- (拡)ユニバーサルツーリズム推進事業

105事業
4,894,607
(千円)



令和5年度の主な取組

生活に必要な情報を円滑に取得し、利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会

情報

25事業
834,012
(千円)

1 手話、点字等の多様な方法により、全ての人が情報を円滑に取得できる措置

- 県主催イベントにおける情報配慮支援事業（手話通訳者、要約筆記者等の派遣）
- 県・県議会広報のユニバーサル化
（県広報番組での字幕・手話画面、知事記者会見や県議会本会議での手話画面、点字広報誌等の発行）
- ひょうご多文化共生総合相談センターの運営（相談員や外部通訳等により11言語に対応）

2 手話通訳等を行う人材の養成及び手話等を学習する機会の確保

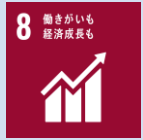
- 視覚障害者等のICT指導者養成研修事業（視覚・聴覚・盲ろう者向け）
- (拡)失語症者向け意思疎通支援事業（意思疎通支援者の養成及び派遣を実施）
- (拡)手話普及促進事業(若者向け、一般県民向け、専門職向け等、対象者別の各種手話講座等を実施)

3 災害時に必要な情報を迅速かつ的確に伝達する体制の整備

- 外国人県民安全・安心基盤整備
（災害時・緊急時等に、情報を翻訳し、外国人県民に多言語で情報伝達できる環境を整備）
- (拡)避難行動要支援者のための個別避難計画の作成支援
（市町の避難行動要支援者の個別避難計画を作成を支援するとともに、自主防災組織等避難支援者の人材育成事業を実施）

4 情報通信技術の活用やその進展による利便性を全ての人が享受できる環境の整備

- 障害者のデジタルデバイド解消事業
（障害者に対するIT相談窓口の設置・IT機器の利用が困難な障害者に対して、操作手法等の講座を開催）
- (新)企業・団体向け「ICTを活用した意思疎通支援力向上のための研修動画」配信事業
（「UDトーク」「手書きソフト」等のスマホやタブレット搭載のアプリケーションを活用して、円滑なコミュニケーションを図るために必要な知識や技術等を研修動画にして、オンデマンドで配信）
- 県立病院におけるWi-Fiの整備
（患者サービスの向上を図りつつ、病院機能の行動かを目指すため、県立病院においてWi-Fi環境を整備）



令和5年度の主な取組

福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会

まち

31事業

11,128,006
(千円)

1 利用の状況の変化に対応した構造又は設備を有する住宅の整備促進

○ユニバーサルデザインを導入した県営住宅の建替

2 公共の施設・交通機関におけるスロープ等の設備設置や施設の整備促進

○兵庫ゆずりあい駐車場の普及促進（～R4:駐車場登録1,906施設 4,915区画 利用証交付数56,831件）

○鉄道駅舎エレベーター等の設置促進（～R4:137駅設置済 R5:2駅設置予定）

○鉄道駅舎ホームドア設置促進事業（～R4:6駅設置済 R5:1駅設置予定）

○ノンステップバス車両の導入促進（～R4:563台導入済 R5:44台導入予定）

○既存歩道のバリアフリー化

（誰もが安全で安心して利用できる歩行空間整備のため、波打ち歩道の解消や段差解消等によるバリアフリー化を推進）

3 利用者等の意見を尊重した公共施設等の整備や運営体制の整備

○ユニバーサル社会づくり推進地区整備事業（～R4：36地区）

（ユニバーサル社会づくり推進地区の指定など、まちづくりをソフト・ハード両面から支援）

○県民の参画と協働による施設整備・管理運営の推進

（公共施設や商業施設、障害者が働く空間のチェック&アドバイスを実施）

○(新)高速道路の障害者割引の要件緩和等

（障害者割引の対象を事前登録自動車以外の代車、レンタカー、タクシー等にも拡大）

4 住み慣れた地域で安心して暮らすためのサービス提供の促進

○障害者グループホーム等の利用に係る低所得者への県単独負担軽減

○(新)介護ロボット導入・生産性向上支援推進総合事業

（「介護生産性向上総合センター（仮称）」を設置し、介護現場の生産性向上の相談や介護ロボット導入支援研修等を実施）

○(拡)介護業務における労働環境改善・業務効率化の支援

（介護ロボット等の導入や見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備を支援）

10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



令和5年度の主な取組

全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会

もの

7事業
195,995
(千円)

3

すべての人に
健康と福祉を



10

人や国の不平等
をなくそう



12

つくる責任
つかう責任



1 全ての人にとって利用しやすいよう設計された日用品等の研究開発の促進

○福祉機器展示3施設連携事業

(県内福祉機器展示3施設(福祉のまちづくり研究所、但馬長寿の郷、西播磨総合リハビリテーションセンター)での、ロボット展示の充実強化、最先端機器開発企業と連携した特別展示セミナーの開催)

2 先端的な技術を活用した医療又は介護の提供のための研究開発の促進

○ロボットリハビリテーション拠点化推進事業

(福祉のまちづくり研究所を核に、最先端技術を活用した医療・介護用リハビリロボット等の拠点化を推進)

○小児筋電義手バンクの運営支援

(筋電義手(筋肉が収縮する時に生じる微量の筋電位を利用して本人の意思で指を動かせる電動の義手)の訓練が必要な子供へ無償貸与)

3 全ての人にとって利用しやすいよう配慮されたサービス提供の促進

○「ユニバーサル社会づくり第7次兵庫県率先行動計画」の推進

(質の高い県民サービスを行う「ユニバーサル県庁」を目指し、「ユニバーサル県庁ガイドブック」の配布、「コミュニケーション支援ボード」の全所属窓口への設置等、庁内各所属で計画に基づき取組を推進)

